

第一回定例委員会報告

6月19日(土)午後7時から、第一回定例委員会を保谷障害者福祉センター会議室で行いました。主な話題と内容は以下のとおりです。

児童課訪問報告・・・会長・副会長・事務局長が、5月21日に児童課中山課長・金谷係長を訪ね、今年度児童課が力を入れる施策として、既存学童クラブの施設整備(本町第二・東・西原・住吉・向台分室)や(仮)北原学童クラブ確保への調整、夏季限定入所を新規にはじめること、民間委託等を視野に入れた学童のあり方検討をはじめること、下保谷と田無柳沢の児童館では中高生向けに夜間開放をはじめること、などが話されたことが報告されました。

年間活動予定(案)と体制・・・総会で確認された各事業の開催見通し等について提案がありました。また、事務局員として新たに、加々見さん(みどりOB)、熊田さん(みどり)が加わる事について承認され、二人を含め各事業の取り組み体制が確認されました。事務局員として各事業を取りまとめていただける方は随時募集しています。お近くの役員、事務局員にお声かけ下さい。

各学童クラブからの報告・・・各父母会から活発な活動報告・意見・質問等が出されました。「下保谷と田無柳沢では育成室も開放なのか」、「夏季入所児童分の父母会費はどうするのか」、「父母会の手紙は指導員だけでなく児童館長にも内容の確認を取る必要があるのか」、「各父母会キャンプはどう進めていてどんな状況か」、「手紙を入れるポケットのない学童は手紙をどう配布しているのか」、「大規模学童の父母会役員決めはうまくいっているのか」、「座卓でおやつを食べている学童で衛生面等問題はないか」、「育成時間中に自らが起こした事故は保険の対象にならないのか」などなど。役員・事務局が情報提供したり、相互に情報・意見交換したりと有意義な時間となりました。時間が足りなくなり、残り半分の学童は活動報告のみとし、次回定例委員会で意見・質問等は出してもらうことになりました。

その他、「学童めぐり」、「子どもまつり実行委員会」、「会長会」、「三多摩連勝総会&学習会」、「学童のあり方検討会への積極的な応募掛け」などが話されました。また、「日本の学童乱れ」誌については、今年度から父母会連勝担当を窓口で支払・受取という、旧田無方式に統一すること、学童クラブ改革が進む中、多くの方にぜひ購読してほしいことが強調されました。

第4回学童めぐり報告

[日時] 2004.7.3 14:00～17:00 [参加人数] 大人25名、小人10名

今年は、初めて西武池袋線の北側を回るということもあり大盛況となりました。当日は、晴天に恵まれ暑すぎるくらいでしたが、幸い事故もなく、無事終了しました。ご参加いただいた皆さん、説明をしてくれた各学童クラブ指導員の皆さんにあらためてお礼申し上げます。

当日の感想アンケートより(参加者の率直な感想です)

【本町第二】 驚きました!!60人の子がいったいぜんたいどうやってあそこでおやつを食べたりお昼寝したりするんでしょう?学年ホールを改善予定とのことですが大至急すすめ欲しいと思います。

棚を付けてドアをつけて学童室として使えるようにする。でも学校と共用。私物は置けない。配布物のポケットなし。エアコンをつけて欲しい。改善後を見たい。

【泉】 片づいている、でも50人入るのはきつと感じる。校庭に面していて室内が明るい。床のマットがいい!全ての床がこうなるといいな!プレイルーム少し充実させて欲しい感じです。育成室だけを考えると狭い。エアコン、網戸はつけて欲しい。ウォールポケット撤去したとのこと

【東】 こぢんまりしているが綺麗に整頓されて良い感じ!きれいで適切な大きさが、定員を大幅に超えた65名での運営は無理。拡充必要。避難ばしごは、1年生は使うのが難しいだろう。避難経路の改修を一日も早く施行して欲しいです。階段が今ひとつ危険。ポケットあり。キッチンまわり事務

机が別室で良い。避難訓練などはしているのでしょうか。

【下保谷】 狭い。畳も早く替えて欲しい。机と台所の場所を考えた方が良い。児童館併設で良い。

ゴザのピンがすぐ抜けて危ない。おやつ昼寝はどのように？指導員の机の配置はどうかにならないのか？窓が危ない。シンク使えない。蛍光灯にカバーがないもの多い。具合が悪いときに休める所がない。やはり、育成室は狭い！夏期臨時受け入れを認めるのはおかしい！！狭すぎてここはダメ！上敷ききれい。畳の交換はどうか？看板はなぜ中にある？冷蔵庫と逆にしたら広いかも？

【保谷第一】 入れず残念。六角形の教室内の育成室が見たかった。建物を老朽化が気になります。

【ひばりヶ丘北】 日当たり良く雰囲気はよかった。なんとなく雑然とした感じ。カベをきれいにしたら子どもも喜ぶと思う。育成室、多目的室の他に通路を含めて使えるスペースが広いと思います。お昼寝の時に横にならない子どもが、多目的室にいられるというのも羨ましいです。事務室、水まわりが離れていて良い。ウォールポケット無し。畳に上敷ききれい。

【自分の学童 and 全体の感想】 綺麗で良い施設なら良いかというところでもない。使い勝手の良さとか子どもが落ち着ける場所とかそういうことの方が大切。定員超過は深刻な問題だなあと思う。どこを見てもやはり定員オーバーに近いところばかりなので、部屋がとても狭く感じるもう少しゆとりを持たせてあげたい。育成室に事務机があり、狭く感じる。全体的に改善を早めるとか、しっかり、期日がわかると良いのにと思いました。広いところは、壁管理をもっとして欲しい。もう少し整理すれば広く使える学童もあった。自分の子どものことなだから良く状況をみて正当な声を上げていかなきゃいけないと思いました。ガス、職員の机などが一緒になっていて使いづらいことが他の学童と比較して実感できた。照明が暗い。

学童こどもまつり実行委員会から

今年で第4回となる学童こどもまつりの第1回実行委員会が7/10(土)に開催されました。今回は学童連協事務局から出店台帳や昨年の資料、保健所からの注意事項が配られ、行事の概要や係についての説明がありました。

開催案は11/3(水・祭)第一候補地は本町小学校です。

今年度の実行委員長には、けやき学童クラブの皆川さんが就任されました。

次回7/31(土)には出店台帳の回収と係分担などが行われる予定です。

市長懇談会に向けて

西東京市の学童保育の施策は、都内でもトップクラスにランクされています。健常児の一次申請児の全員入所、夏季限定保育など、最大限の努力と新しい試みを行政は行ってくれています。それも、利用者の意見を聞く場として「懇談会」が例年行われている事も大きな要因ではないでしょうか？今年も連絡協議会は「懇談会」の実施を予定いたします。

トップクラスとは言え、市内25学童クラブ施設はその環境の違いから必ずしも同じものではありません。各学童クラブの「ここが良くなれば・・・!」、「もっとこうして欲しい!」を各父母会で確認していただき、市と話し合う場に提示し、より良い学童保育を目指したいと考えます。

つきましては、各学童クラブ父母会からのご意見、ご要望を8月開催予定の会長会で確認し、9月定例委員会で協議し、要望書として提出しますのでご協力をいただけますようお願いいたします。

そして、何より父母の生の声を行政に届けられるよう「懇談会」への多数の出席をお願いいたします。（「懇談会」は10月下旬を目指しています。詳細は決定次第お知らせ致します。）

会長会開催のお知らせ

各学童クラブ父母会会長あて、7月17日付けでご案内をお出ししているところ（連協担当を通じお渡ししていますので、お手元に届くのは若干遅くなると思います）ですが、下記のとおり「会長会」を開催いたします。

この会は、秋に行う「市への要望」及び開催が予定される「市長懇談会」に向け、各学童クラブの状況を情報交換するとともに、父母会運営状況や傾向等、父母会相互の意見交換・交流を行い、各父母会種がますます活発になることを目的としております。

会長会としていますが、ご都合がつかない場合は、他の方の参加でもかまいません。

夏休み終盤のお忙しい時期ですが、必ずすばらしい出会いがありますので、ぜひご参加ください。

【日時】8月28日(土)午後6時～

【会場】田無庁舎202・203会議室

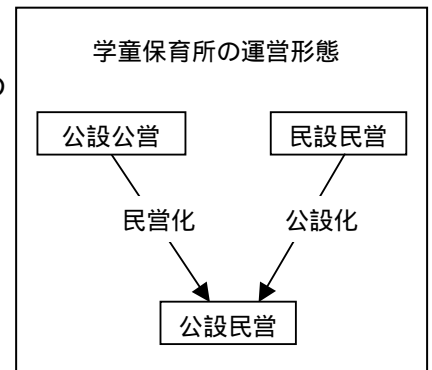
*終了後、希望者による懇親会(会費3,000円程度)も予定しています。

民営化豆知識

皆さんご存知ですか？今、西東京市では公設保育園の民営化が検討されています。近隣の状況からも学童クラブの民営化についても今後検討されていくだろうと思われます。そこで連協では今年度、民営化に向けて研究会を立ち上げることにしました。連協だけでなく皆さんにも民営化について知っていただきたいと思い、今月から数回に分けて「民営化豆知識」を掲載します。第1回は「民営ってなに」です。

民営ってなに？

学童保育(クラブ)の運営形態には大きく分けて3つあります。自治体が施設管理から運営まで行う公設公営型、父母会などの民間が全てを行う民設民営型、自治体が施設管理を行い、運営は社会福祉協会や民間が担い、企業などが行う公設民営型です。1998年、学童保育が始まってから50年も経ってやっと法令化になりました。つまり自治体の責任によって学童保育を行わなければならないなくなったのです。これ以降、自主保育から始まった民間の学童保育所(民設民営)が公設民営に移っていています。民設民営の時は3~4万払っていた保育料が、公設民営になれば半額くらいになるので保護者にとっては大きなメリットになります。これを「公設化」といいます。これに呼応するように公設公営で行っていた自治体が「民営にするとお金がかからないのか」と思い始め、運営を民間に委託するところが出てきました。これがいわゆる「民営化」です。では次回からそれぞれのメリット、デメリットについて考えていきましょう。



新役員自己紹介コーナー その2

副会長 森 哲夫(保谷柳沢学童クラブ)

初めてなので一つ一つ勉強して行きたいと思います。

事務局長 溝端 康子(住吉学童クラブ)

より楽しい学童クラブを目指して、出来る限りのことを頑張ります。

編集後記

民営化っていったい何？という疑問に少しでもお答えするべくコーナーを設けました。ご意見、ご要望をお寄せください。(溝端)

発行:西東京市学童クラブ連絡協議会 会長 中曽根 聡

作成:溝端 伊藤 森 加々見 菊也 松本

西東京市学童クラブ連絡協議会ホームページ: <http://www.tonpo.net/gakudou/>

メーリングリストもあります! 加入ご希望の方は、連協定例会に出席される方を通じてお申込み、いただくか、メールにてお申し込みください。メールアドレス renkyo@tonpo.net